

●大学生70人がサイバー 防犯ボランティア

県警は7日、本年度のサイバー防犯ボランティアとして活動する県内の大学生約70人に団体員証を交付した。熊本学園大、県立大、東海大、崇城大の学生が、交流サイト（SNS）上で児童ポルノなど有害情報を見つけて削除を求めたり、小中高生に講話して被害防止を呼びかけたりする。昨年度は391件の有害情報を発見した。県警本部であった交付式で、村上敏幸生活安全部長が各大学の代表に手渡した。熊本学園大4年の宗像泰我さんは「被害を防ぐため、警察などと協力して積極的に活動する」と決意を述べた。